

事務事業名	石名坂環境事業所管理費										担当課	部課名	環境部石名坂環境事業所			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	04	課等の長	曾根 道明	電話	6464

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	市内で発生する可燃ごみの焼却処理, 施設の維持管理及び余熱の有効利用による自家発電と余剰電力の売電, 石名坂温水プールへの熱源供給を行う。						
対象	1. 個人	事業者及び市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 藤沢市廃棄物の減量化, 資源化及び適正処理等に関する条例					
事業実施内容	市内で発生する可燃ごみの焼却処理, 施設の維持管理及び余熱の有効利用による自家発電と余剰電力の売電, 石名坂温水プールへの熱源供給を行った。						
事業実施手法 (該当するものに全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 荏原環境プラント(株) ) (委託等内容 : 保守点検業務委託, 焼却炉等運転業務委託 )						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : ボイラー・タービン主任技術者会, 電気主任技術者会会, 廃棄物処理施設技術管理協会等 )						
	<input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 701,582 千円	事業費節別内訳		主な事業内容	
		需用費	227,054 千円		施設の維持管理に要する消耗品, 修繕費, 光熱水費等
		委託料	451,310 千円		各種設備の保守点検委託料, 焼却炉運転委託料等
		使用料及び賃借料	9,362 千円		仮設建物や各種機器等の賃借料
		負担金補助及び交付金	431 千円		講習会等参加者負担金, 各種技術者会会費等
財源内訳	R2年度 支出済額 701,582 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		分担金・負担金			
		使用料・手数料	482,774 千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
その他 (衛生費雑入)	12,226 千円				
一般財源	206,582 千円				

	令和2年度
常時勤務職員※	30.20人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	30.20人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	6.50人

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	1,043,210	1,066,727	1,073,375	1,096,729			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	992,536	994,071	1,002,876	1,018,375			
	事業費(支出済額)	651,169	665,684	711,316	701,582			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	341,367	328,387	291,560	316,793			
	①常時勤務職員等の給与等	325,700	312,670	274,230	289,136			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	11,857			
	③退職金相当額	15,667	15,717	17,330	15,800			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	50,674	72,656	70,499	78,354			
	①減価償却費	61,154	80,945	80,782	80,883			
	②退職給与引当金繰入額	-10,480	-8,289	-10,283	-2,529			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2440.25	427,501	2484.71	429,317	2478.58	433,060	2520.51	435,121

成果実績	指標名	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
		実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業は、可燃ごみ焼却施設の維持管理を行う事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設竣工後37年が経過しているため、施設の老朽化に応じた適切な維持管理を行い、計画的なごみ処理が必要である。
(2) 課題解決のための今後の取組	計画的な維持管理、予防保全による円滑なごみ処理を行う。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	可燃ごみを計画的に焼却処理しており、施設の適正な維持管理、焼却余熱を有効に利用し発電による余剰電力の売電や温水プール熱源供給を行っている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	ごみ処理の拠点施設として可燃ごみの焼却処理、施設の維持管理及び余熱の有効利用による発電と余剰電力の売電、石名坂温水プールへの熱源供給を行っている。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	可燃ごみの処理計画の策定に関すること	無	無	3	2
2	計量業務に関すること	無	無	1	2
3	可燃ごみ搬入指導業務に関すること	無	無	3	3
4	資源の受入業務に関すること	無	無	3	3
5	焼却炉の運転に関すること	無	無	3	3
6	焼却残渣の処分に関すること	無	無	3	1
7	大型ごみ搬入指導業務に関すること	無	無	3	1
8	大型ごみ破碎機の運転に関すること	無	無	3	1
9	犬猫死体の受入・焼却処理に関すること	無	無	3	1
10	廃棄物処理手数料(現金)の収納に関すること	無	無	3	3
11	廃棄物処理手数料(月極)の収納に関すること	無	無	1	2
12	廃棄物処理手数料の減免に関すること	無	無	1	2
13	犬猫用骨壺実費収入(現金)の収納に関すること	無	無	3	3
14	大型ごみ等処理手数料(現金)の収納に関すること	無	無	1	

15	公金現金の取扱いに関する事	無	無	3	3
16	所全体の維持管理に関する事	無	無	2	2
17	所内の安全衛生に関する事	無	無	1	3
18	廃棄物処理技術管理者の職務に関する事	無	無	3	3
19	電気主任技術者の職務に関する事	無	無	2	3
20	ボイラー・タービン主任技術者の職務に関する事	無	無	1	2
21	環境保全に関する事	無	無	3	2
22	防火管理者の職務に関する事	無	無	3	3
23	工事・業務委託の契約, 執行管理に関する事	無	無	3	3
24	施設修繕の契約, 執行管理に関する事	無	無	3	3
25	物品修繕の契約, 執行管理に関する事	無	無	3	3
26	消耗品の管理, 発注に関する事	無	無	3	3
27	施設見学者に対する説明, 案内に関する事	無	無	3	3
28	地元住民対応に関する事	無	無	2	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

#### 8. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2021/8/2
----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	石名坂環境事業所整備費										担当課	部課名	環境部石名坂環境事業所			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	05	課等の長	曾根 道明	電話	6464

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	焼却処理業務を円滑に実施するための施設整備工事を行う。						
対象	4. その他	市民及び事業者				435,121 人	
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 藤沢市廃棄物の減量化, 資源化及び適正処理等に関する条例					
事業実施内容	焼却施設の処理能力を良好に保つため, 機械設備等の工事を行った。 令和2年度実施工事 1 廃熱ボイラー水管補修工事 2 ろ過式集じん器ろ布取替工事						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 191,896 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		旅費	25 千円	工事実地検査
		需用費	31 千円	印刷製本費
		工事請負費	191,840 千円	経年劣化等による機械設備等の整備工事費
財源内訳	R2年度 支出済額 191,896 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	87,000 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (環境基金繰入金)	102,767 千円	
一般財源	2,129 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.04人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.04人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	670,938	647,421	1,966,828	1,125,296			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	671,441	647,637	1,966,810	1,128,200			
	事業費(支出済額)	425,723	583,690	1,007,613	191,896			
	償還金利子	226,385	44,675	939,760	925,652			
	人件費合計(①+②+③)	19,333	19,272	19,437	10,652			
	①常時勤務職員等の給与等	18,438	18,334	18,282	10,089			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	895	938	1,155	563			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-503	-216	18	-2,904			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-503	-216	18	-2,904			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1569.44	427,501	1508.03	429,317	4541.70	433,060	2586.17	435,121

成果実績	指標名	—	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績	—	実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本事業は、可燃ごみ焼却施設の機能を維持する事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—		—	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設竣工後37年が経過し、重要機器の整備を計画的に進めている。ごみ処理も計画的に行う必要があることから、工事工程等の十分な調整が必要となってくる。
(2) 課題解決のための今後の取組	工事項目も増加していることから、工法等を検討し効率的な工事を行い、工事工程とごみ処理計画の調整を進める。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市焼却施設整備基本計画の整備スケジュールに基づき、施設整備の実施、施設の老朽化及び延命化対策を行っている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	焼却施設の老朽化対策等を計画的に実施し、ごみ処理の拠点施設として延命化を図っていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	工事・業務委託の契約、執行管理に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2021/8/2
----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	石名坂環境事業所整備費(繰越分)										担当課	部課名	環境部石名坂環境事業所			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	05	課等の長	曾根 道明	電話	6464

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	焼却施設の処理能力を良好に保つため、機械設備等の工事を行ったものであるが、施設に搬入されたごみを焼却炉に投入するためのごみクレーンバケットに亀裂が生じたことに伴い、早期に更新工事を行う必要があった。しかしながら、令和元年度内の完了が見込めなかったことから、繰越明許費の設定を行ったもの。						
対象	4. その他	市民及び事業者					435,121 人
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例						
事業実施内容	焼却施設の処理能力を良好に保つため、機械設備等の工事を行った。 令和2年度実施工事(繰越明許) 1 ごみクレーンバケット本体更新工事						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 35,200 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	35,200 千円	ごみクレーンバケット本体更新工事
財源内訳	R2年度 支出済額 35,200 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (焼却施設整備費)	26,400 千円			
一般財源	8,800 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.26 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.26 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	0	0	0	38,647			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	0	37,863			
	事業費(支出済額)				35,200			
	償還金利息				0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	2,663			
	①常時勤務職員等の給与等				2,522			
	②会計年度任用職員の報酬等				0			
	③退職金相当額				141			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	0	784			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				784			
	③不納欠損額				0			
	④その他 ( )				0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	427,501	0.00	429,317	0.00	433,060	88.82	435,121

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-		-		-		-	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	本事業は、可燃ごみ焼却施設の機能を維持する事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができない。									
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-		-		-		-	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設竣工後37年が経過し、重要機器の整備を計画的に進めている。ごみ処理も計画的に行う必要があることから、工事工程等の十分な調整が必要となってくる。
(2) 課題解決のための今後の取組	工事項目も増加していることから、工法等を検討し効率的な工事を行い、工事工程とごみ処理計画の調整を進める。(現年度予算で執行予定。)

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市焼却施設整備基本計画の整備スケジュールに基づき、施設整備の実施、施設の老朽化及び延命化対策を行っている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	焼却施設の老朽化対策等を計画的に実施し、ごみ処理の拠点施設として延命化を図っていく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	工事・業務委託の契約、執行管理に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2021/8/2
----	-----	----	-------	-----	----------